

2021年3月期第2四半期 決算説明会資料

2020年11月9日

ShinEtsu

信越ポリマー株式会社

証券コード：7970

2020年9月15日
おかげさまで創立60周年を迎えました。



ShinEtsu
Shin-Etsu Polymer Co., Ltd.

目次

1. 連結業績のポイント
2. 連結業績サマリー
3. 連結業績の推移
4. セグメント別業績サマリー
5. セグメント別業績
 - ・ 電子デバイス
 - ・ 精密成形品
 - ・ 住環境・生活資材
6. 財務諸表
 - ・ 比較貸借対照表
 - ・ 比較損益計算書
 - ・ キャッシュフロー計算書

7. 通期業績予想
8. セグメント別業績予想
9. 設備投資・減価償却費・
研究開発費

【会社概要】

プロフィール
技術展開
グローバルネットワーク

【参考資料】

主要な経営指標の推移
セグメント別四半期業績の推移
配当金の推移
本資料に関する注意事項

1. 連結業績のポイント

①

新型コロナウイルス感染症の影響により
自動車業界関連分野などの需要が減少



自動車関連入カデバイス及び
塩ビ関連製品、新規素材系製品が低調

②

半導体業界や電子部品業界は堅調



半導体関連容器が堅調

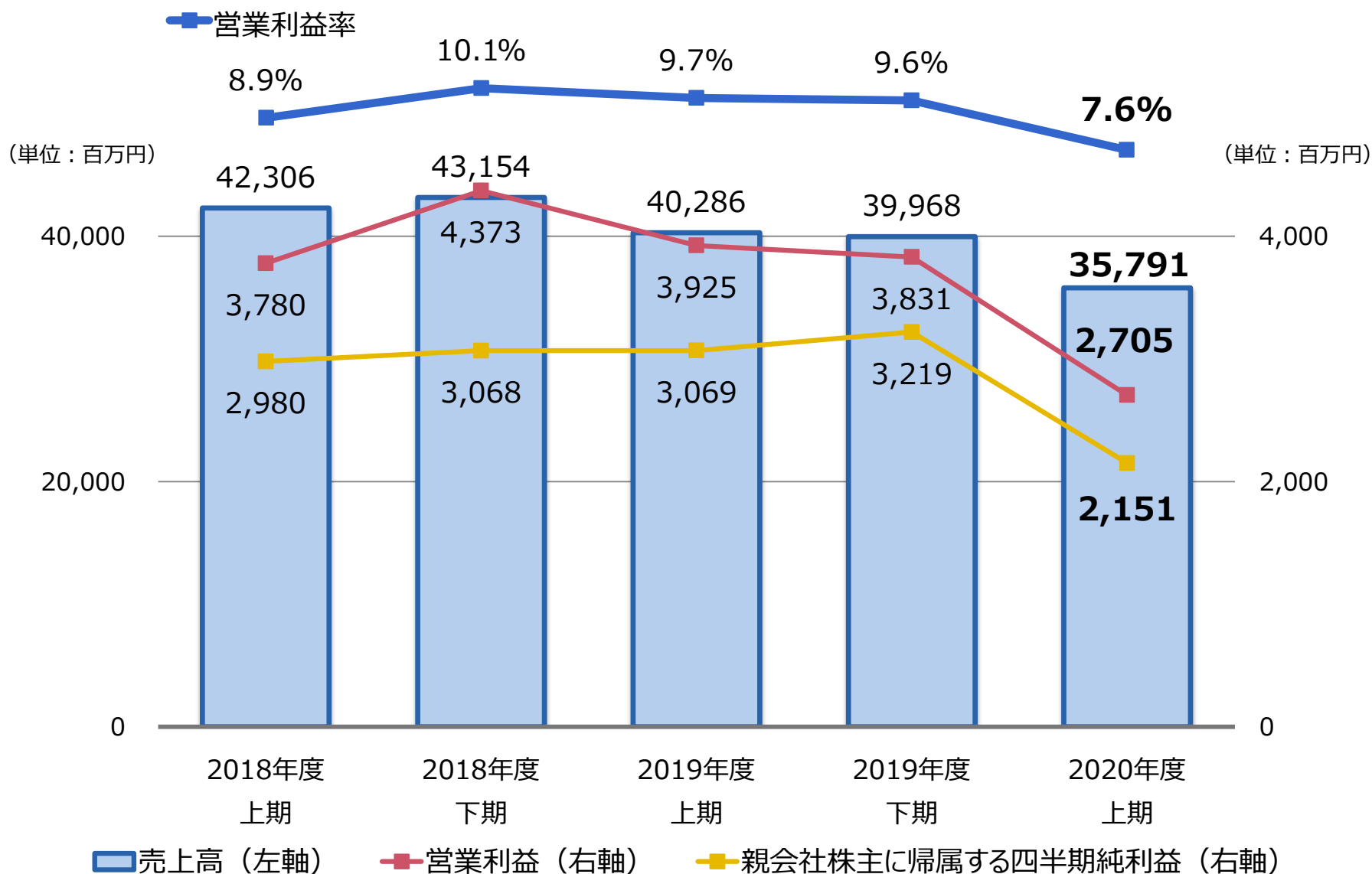
2. 連結業績サマリー

(単位：百万円)

	2019年度上期	2020年度上期	前年比較	
			増減額	増減率
売上高	40,286	35,791	△ 4,495	△ 11.2%
営業利益	3,925	2,705	△ 1,220	△ 31.1%
経常利益	4,033	2,927	△ 1,106	△ 27.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,069	2,151	△ 918	△ 29.9%
1株当たり四半期純利益	37.8 円	26.6 円	△ 11.2円	△ 29.6%
1株当たり中間配当金	8.0 円	9.0 円	1.0 円	12.5%
為替レート (／US\$)	1-6月平均	110.1 円	108.3 円	-
	4-9月平均	108.6 円	106.9 円	-

※ 為替レートの1-6月平均は、海外子会社の損益を連結するときに使用

3. 連結業績の推移



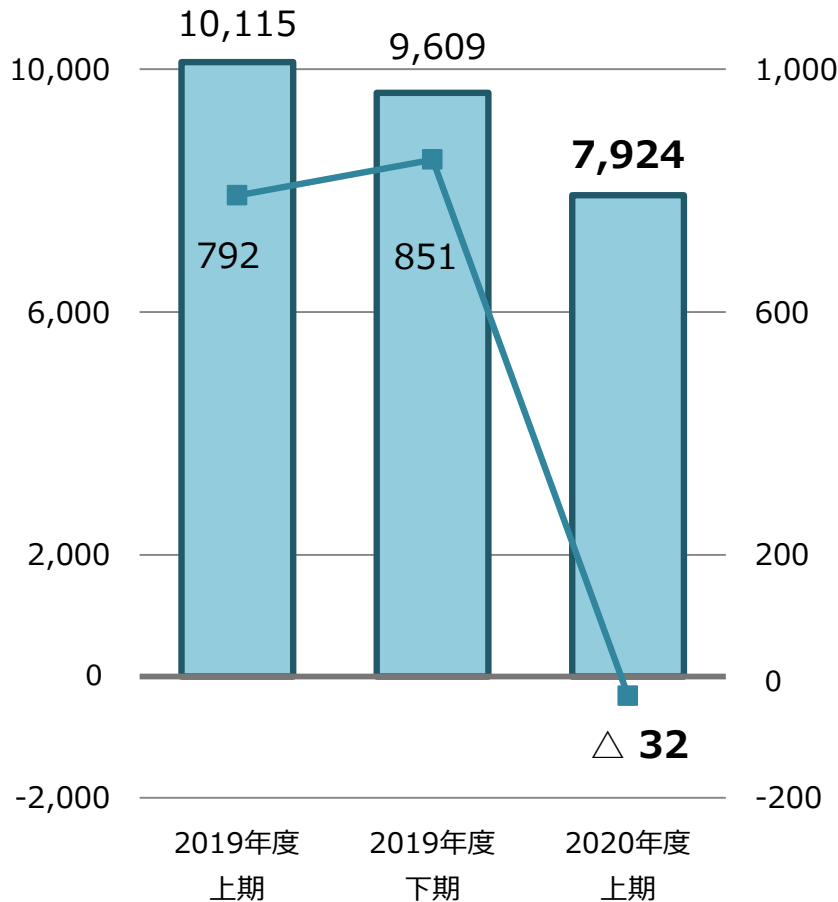
4. セグメント別業績サマリー

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2019年度 上期	2020年度 上期	前年比較		2019年度 上期	2020年度 上期	前年比較	
			増減額	増減率			増減額	増減率
電子デバイス	10,115	7,924	△ 2,191	△ 21.7%	792	△ 32	△ 824	△ 104.0%
精密成形品	16,354	16,673	319	2.0%	2,603	2,554	△ 49	△ 1.9%
住環境・生活資材	9,665	8,445	△ 1,220	△ 12.6%	363	89	△ 274	△ 75.5%
その他	4,149	2,748	△ 1,401	△ 33.8%	165	93	△ 72	△ 43.6%
合計	40,286	35,791	△ 4,495	△ 11.2%	3,925	2,705	△ 1,220	△ 31.1%

5. セグメント別業績 電子デバイス

(単位：百万円)



■ 売上高 (左軸) ■ 営業利益 (右軸)

■ 入力デバイス関連製品

自動車用キースイッチが需要低迷
薄型ノートパソコン用タッチパッドは好調

■ ディスプレイ関連製品

液晶接続用コネクタが低調
光学用途向けVCFの出荷も横ばい

■ コンポーネント関連製品

電子部品検査用コネクタは順調
ワイパーなど自動車関連製品が低調

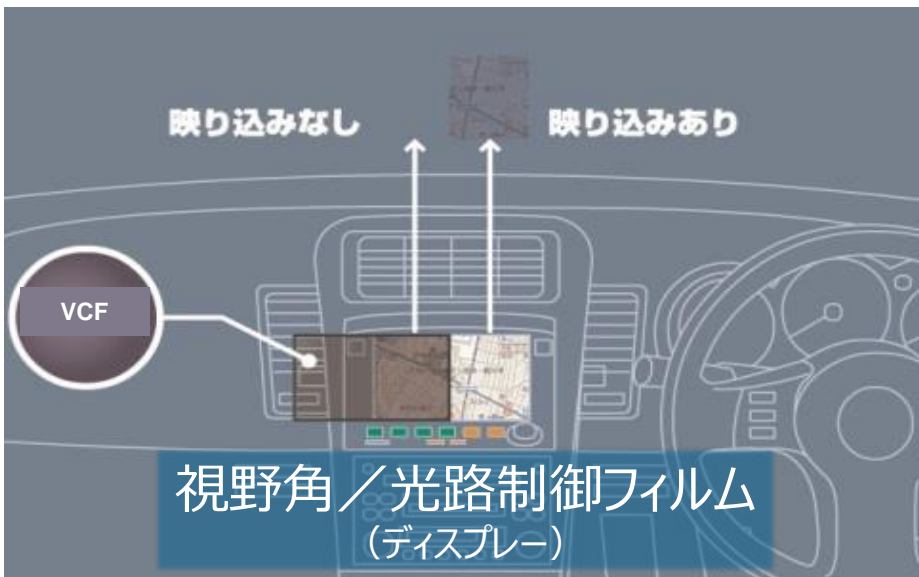
5. セグメント別業績 電子デバイス



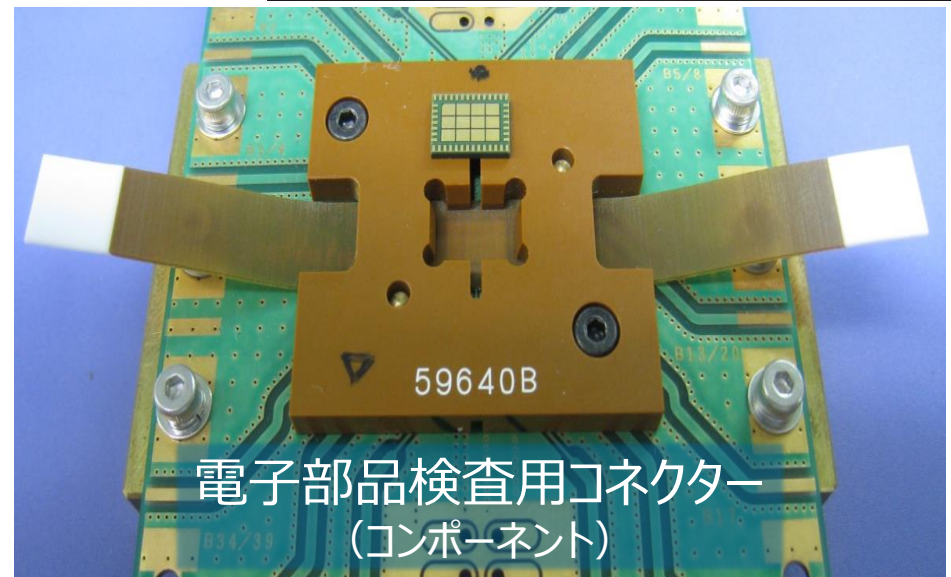
キースイッチ
(入力デバイス)



タッチスイッチ
(入力デバイス)



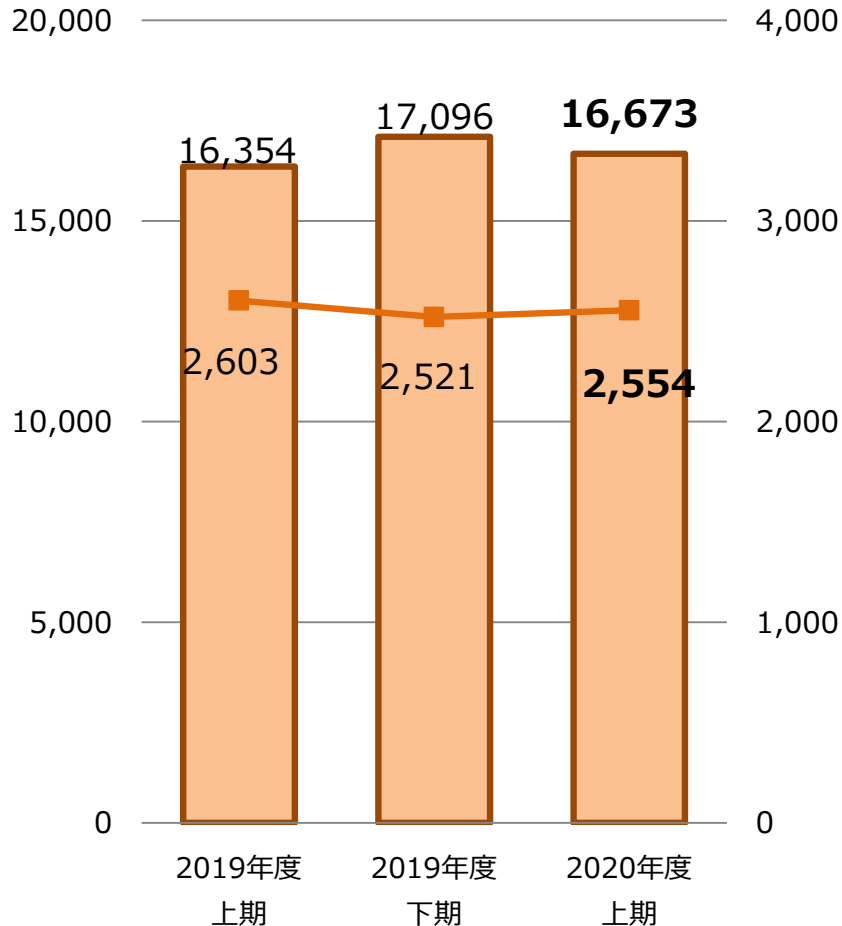
視野角／光路制御フィルム
(ディスプレイ)



電子部品検査用コネクタ
(コンポーネント)

5. セグメント別業績 精密成形品

(単位：百万円)



■売上高 (左軸) ■営業利益 (右軸)

■ 半導体関連容器

300mmウェハ一用出荷容器が堅調
工程内搬送容器は需要回復せず

■ OA機器用部品

主力の現像ローラが低調

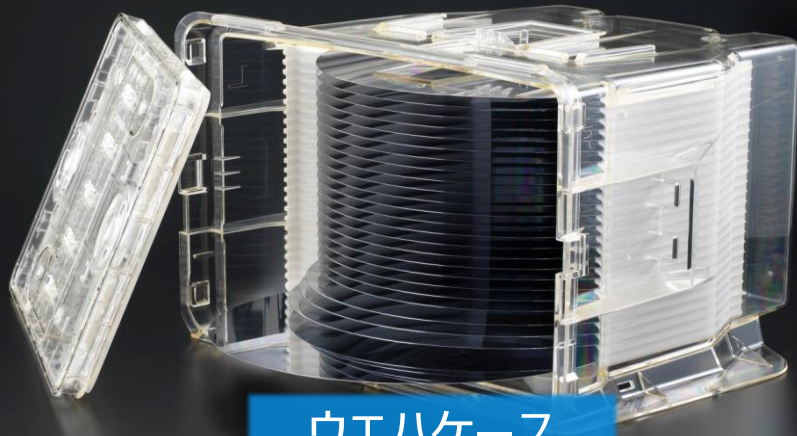
■ キャリアテープ関連製品

微細電子部品用が堅調

■ シリコンゴム成形品

主力のメディカル関連製品が堅調

5. セグメント別業績 精密成形品



ウエハケース
(半導体関連容器)



キャリアテープ



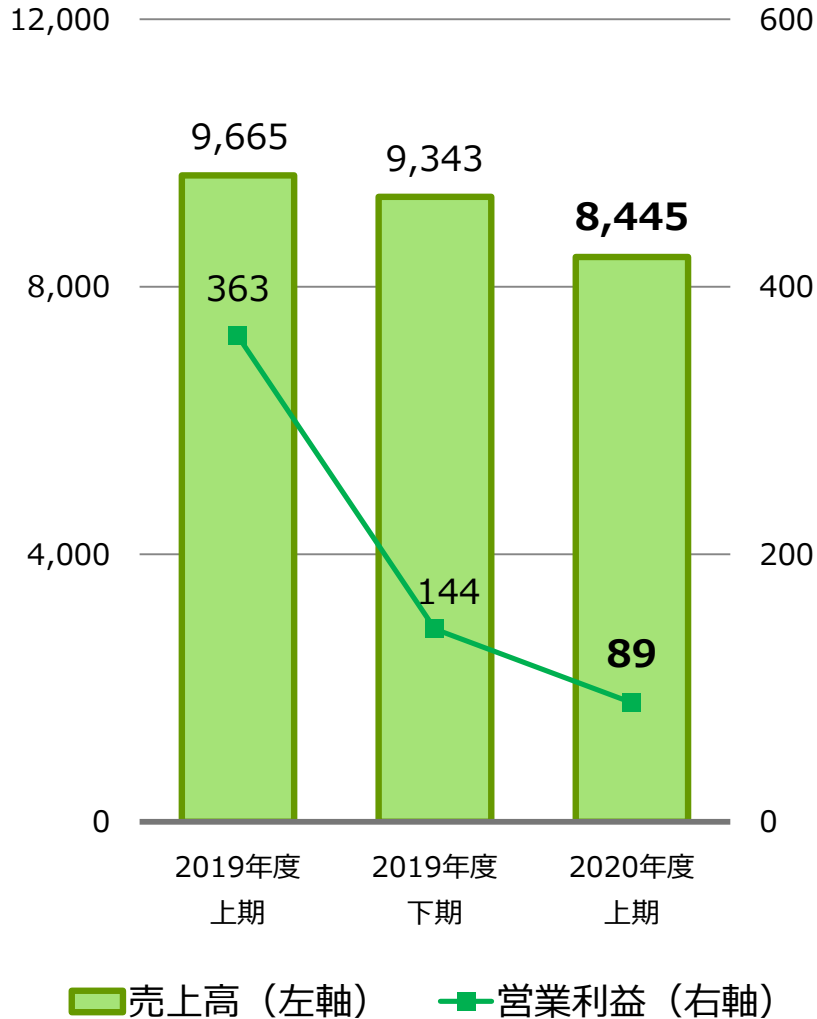
OAローラ
(OA機器用部品)



メディカル関連製品 / カテーテル
(シリコンゴム成形品)

5. セグメント別業績 住環境・生活資材

(単位：百万円)



■ ラッピングフィルム

スーパー向けは堅調だったが、
外食産業向けが落ち込み

■ 機能性コンパウンド

ロボットなどの工作機械ケーブル用、
自動車用ともに低調

■ 外装材関連製品

波板が堅調

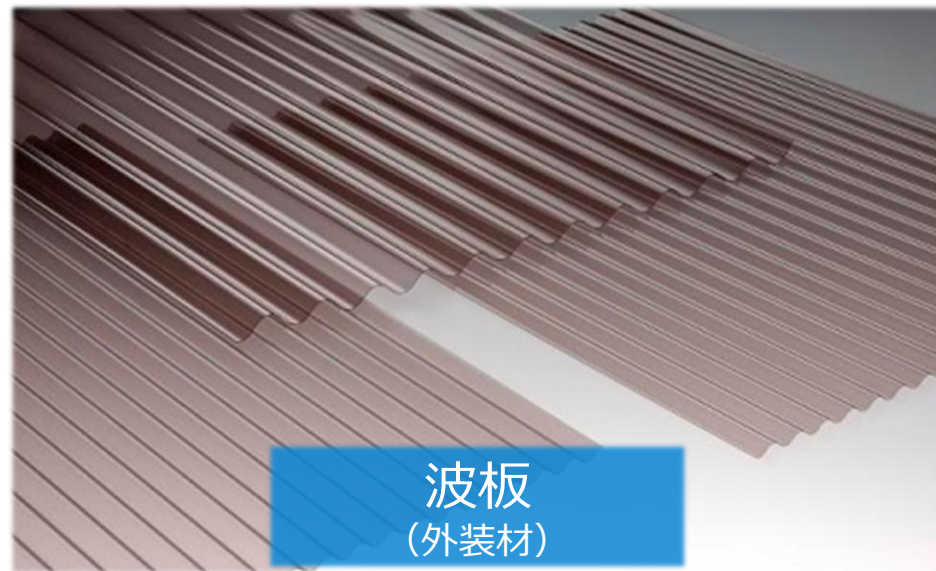
■ 導電性ポリマー

スマートフォン部品用途、
自動車用電子部品用途ともに低調

5. セグメント別業績 住環境・生活資材



ラッピングフィルム



波板
(外装材)



機能性コンパウンド



導電性ポリマー

6. 財務諸表 比較貸借対照表

		2020年3月末	2020年9月末	(単位：百万円) 増減額
流動資産	現金・預金	42,514	45,294	2,780
	受取手形・売掛金・電子記録債権	22,121	18,856	△ 3,265
	たな卸資産	11,696	11,419	△ 277
	その他	1,344	983	△ 361
	計	77,676	76,554	△ 1,122
固定資産	有形固定資産	23,579	23,487	△ 92
	無形固定資産	156	157	1
	その他	3,966	4,010	44
	計	27,701	27,654	△ 47
資産合計	105,378	104,209	△ 1,169	
流動負債	支払手形・買掛金・電子記録債務	12,649	10,765	△ 1,884
	その他	6,122	6,572	450
	計	18,771	17,337	△ 1,434
固定負債	退職給付に係る負債	1,341	1,155	△ 186
	その他	726	695	△ 31
	計	2,068	1,851	△ 217
負債合計	20,839	19,189	△ 1,650	
純資産合計	84,538	85,020	482	
負債・純資産合計	105,378	104,209	△ 1,169	

6. 財務諸表 比較損益計算書

(単位：百万円)

	2019年度上期	2020年度上期	増減額	増減率
売上高	40,286	35,791	△ 4,495	△ 11.2%
売上原価	27,498	24,705	△ 2,793	△ 10.2%
販売費・一般管理費	8,861	8,381	△ 480	△ 5.4%
営業利益	3,925	2,705	△ 1,220	△ 31.1%
営業外収益	315	239	△ 76	△ 24.1%
営業外費用	207	17	△ 190	△ 91.8%
経常利益	4,033	2,927	△ 1,106	△ 27.4%
税金等調整前四半期純利益	4,033	2,927	△ 1,106	△ 27.4%
法人税・住民税・事業税	782	785	3	0.4%
法人税等調整額	181	△ 9	△ 190	△ 105.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,069	2,151	△ 918	△ 29.9%

6. 財務諸表 キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2019年度上期	2020年度上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,343	5,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,596	△ 1,435
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 650	△ 882
現金及び現金同等物の期末残高	40,239	44,769

7. 通期業績予想

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度 (予想)	増減額	増減率
売上高	80,254	74,000	△ 6,254	△ 7.8%
営業利益	7,756	5,800	△ 1,956	△ 25.2%
経常利益	8,097	6,000	△ 2,097	△ 25.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,288	4,400	△ 1,888	△ 30.0%
1株当たり当期純利益	77.6 円	54.4 円	△ 23.2円	△ 29.9%
1株当たり年間配当金	18.0 円	18.0 円	0.0円	0.0%

8. セグメント別業績予想

(単位：百万円)

売上高				
	2019年度	2020年度 (予想)	増減額	増減率
電子デバイス	19,725	17,600	△ 2,125	△ 10.8%
精密成形品	33,451	33,600	149	0.4%
住環境・生活資材	19,009	17,300	△ 1,709	△ 9.0%
その他	8,067	5,500	△ 2,567	△ 31.8%
合計	80,254	74,000	△ 6,254	△ 7.8%
営業利益				
	2019年度	2020年度 (予想)	増減額	増減率
電子デバイス	1,644	550	△ 1,094	△ 66.5%
精密成形品	5,125	5,000	△ 125	△ 2.4%
住環境・生活資材	508	150	△ 358	△ 70.5%
その他	478	100	△ 378	△ 79.1%
合計	7,756	5,800	△ 1,956	△ 25.2%

9. 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 (予想)
設備投資	5,420	6,023	3,032	3,600
減価償却費	3,011	3,790	3,939	3,600
研究開発費	3,382	4,249	3,896	3,800

<設備投資トピックス>

- ◆ インド社第3棟：2021年3月完成予定



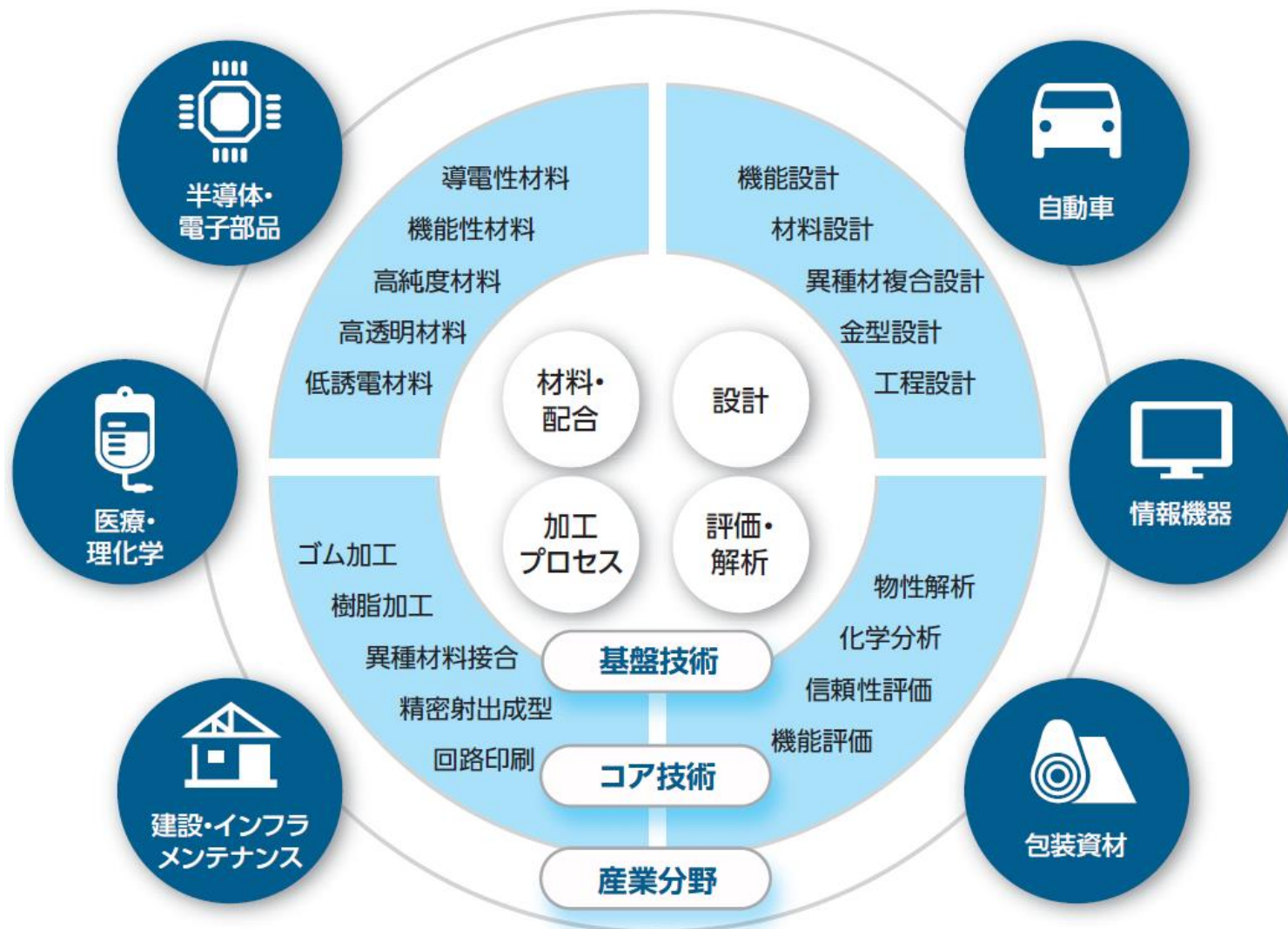
会社概要

信越ポリマーは、1960年に塩ビ加工メーカーとして設立以来、シリコンなどの各種樹脂の「材料配合」、「設計」、「加工プロセス」、「評価・解析」の基盤技術の応用展開に努めてきました。

現在、樹脂加工メーカーとして、自動車、情報機器関連から半導体、建設関連に至る幅広い分野で、お客様の多様なニーズにお応えしています。

設立	1960年9月15日、信越化学工業株式会社の出資により設立。
主な事業	塩化ビニル樹脂およびシリコンゴム等を主原料とした製品の製造・販売。 電子・電気機器関連から建設関連まで、幅広い分野で事業を展開。
資本金	116億3,595万円
連結子会社数	14社
従業員数	4,552名（連結）、1,028名（単独）（2020年9月30日現在）

【会社概要】技術展開



グローバルなニーズへの対応力 (2020年9月30日現在)





參考資料

【参考資料】主要な経営指標の推移

(単位：百万円)

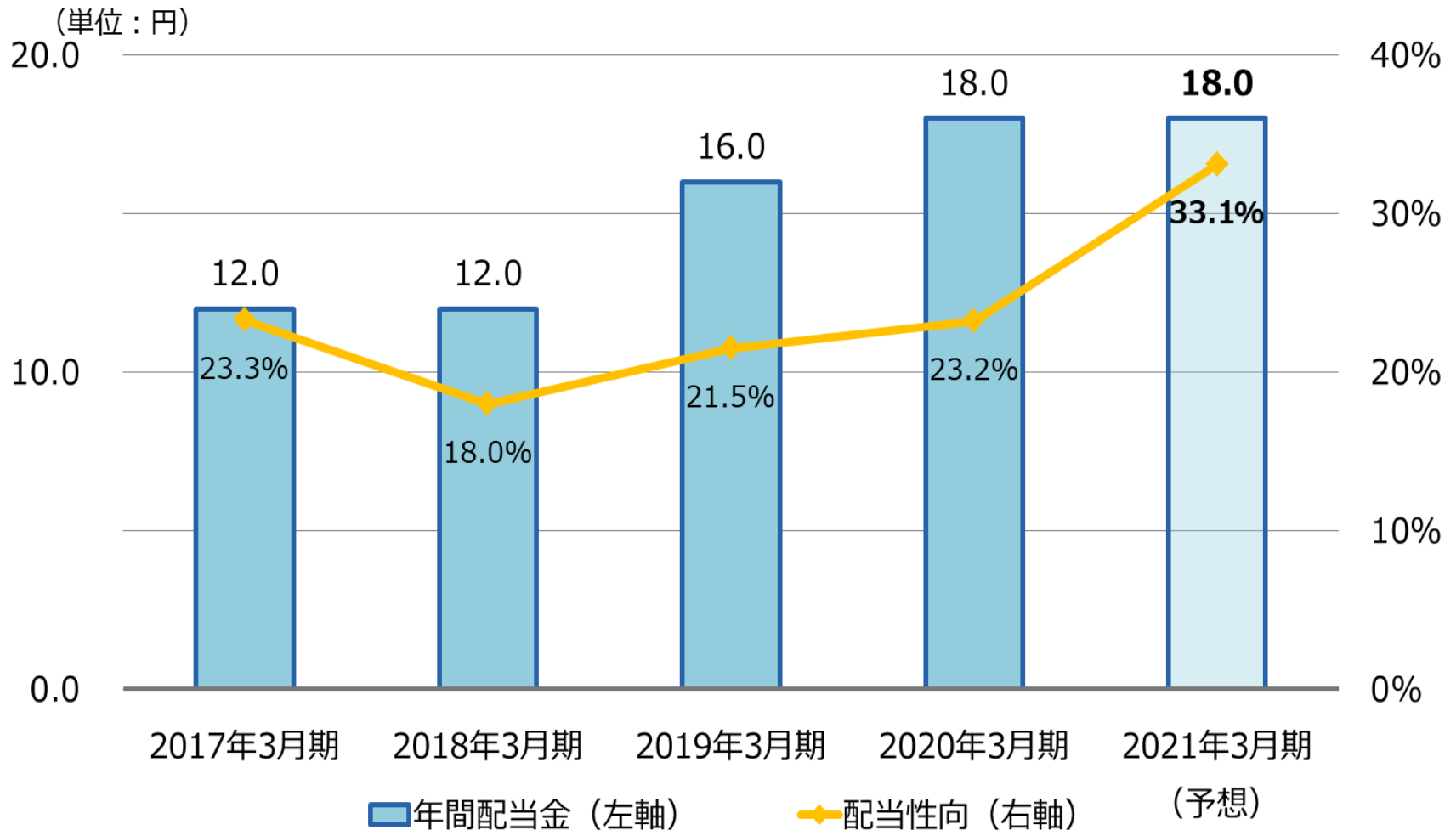
	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	75,039	73,979	79,343	85,460	80,254
営業利益	4,101	5,511	7,206	8,153	7,756
経常利益	4,532	5,934	7,274	8,026	8,097
親会社株主に帰属する当期純利益	3,151	4,230	5,455	6,049	6,288
総資産	92,845	96,061	103,667	107,032	105,378
純資産	71,253	72,890	77,510	80,560	84,538
自己資本比率	76.7%	75.8%	74.6%	75.1%	80.0%
1株当たり当期純利益(円)	38.55	51.60	66.48	74.27	77.55
1株当たり年間配当金(円)	9.00	12.00	12.00	16.00	18.00
売上高営業利益率	5.5%	7.5%	9.1%	9.5%	9.7%
ROE (株主資本利益率)	4.4%	5.9%	7.3%	7.7%	7.6%
ROA (総資産経常利益率)	4.9%	6.3%	7.3%	7.6%	7.6%
従業員数(人)	3,942	4,144	4,407	4,614	4,655

【参考資料】セグメント別四半期業績の推移

(単位：百万円)

		2020年3月期						2021年3月期		
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期
電子デバイス	売上高	4,894	5,220	10,115	4,972	4,636	9,609	4,417	3,507	7,924
	営業利益	376	415	792	445	406	851	103	△ 135	△ 32
精密成形品	売上高	7,979	8,375	16,354	8,698	8,398	17,096	8,328	8,344	16,673
	営業利益	1,195	1,408	2,603	1,219	1,302	2,521	1,152	1,401	2,554
住環境・ 生活資材	売上高	4,767	4,898	9,665	4,972	4,371	9,343	4,126	4,319	8,445
	営業利益	161	202	363	87	57	144	32	57	89
その他	売上高	1,796	2,353	4,149	1,794	2,123	3,918	1,460	1,288	2,748
	営業利益	86	78	165	165	148	313	70	22	93
合計	売上高	19,438	20,848	40,286	20,438	19,529	39,968	18,332	17,459	35,791
	営業利益	1,820	2,105	3,925	1,917	1,913	3,831	1,359	1,345	2,705

【参考資料】配当金の推移





本資料に関する注意事項

本決算説明会資料に記載されている、信越ポリマーの現在の計画、戦略など歴史的事実ではないものは、将来に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでいます。したがって、実際には、事業を取り巻く経済情勢や市場環境、為替相場、需要動向の変動など、さまざまな要因によって記述とは大きく異なる結果が生じる可能性があります。

※ 本決算説明会資料の財務データは、単位未満の金額については、切り捨てにより表示しています。